令和８年度 秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）

約15分の短い動画で構成されており、忙しい社会人の方でも学びやすい講座です！

アカデミック・ブリッジ講座

本講座は、秋田大学５学部の教育資源を活用し、主に社会人の学び直しを支援する講座です。DX、保健医療、環境、資源、社会科学などの分野について学び、業務に必要な知識や技能の向上、地域社会での活躍やキャリア形成に役立てることを目的としています。

11月30日（月）まで 募集期間延長！

募集期間

令和８年９月４日（金）～~~９月30日（水）~~

※ ただし、募集期間内であっても、定員に達し次第、募集を締め切ります。

受講期間

令和８年10月15日（木）
～ 令和９年２月28日（日）

受 講 料

1プログラムにつき 24,000 円（税込）

※ 納入された受講料は原則として返還しません。受講料の納入方法は、クレジットカード決済または請求書払いです。

定　　員

「DX 入門講座」（情報データ科学部）のみ 40 名、
その他は各10 名

実施形態

動画（オンデマンド）により実施

※LMS（Learning Management System）を使用。

【禁止事項】
・講義内容の録音、録画、撮影その他これらに類する行為は禁止します。
・講義で使用する資料等の複製、配布、転載その他これらに類する行為は禁止します。

修了要件

・修了の前提として、動画視聴の完了を必須とします。
・そのうえで、成績評価にあたって、確認テストや記述式レポートが課されますので、必ず提出してください。
所定の基準を満たした場合に修了となります。
・修了者には、デジタルバッジ（修了証）を交付します。

申込方法

下記の申込フォーム URL または二次元コードからお申し込みください。

申込フォーム URL
https://forms.cloud.microsoft/r/UVkVMbNq1R

プログラム名	資源・エネルギー講座		
国際資源学部		受講対象	高校生以上
内　容	本講座では、資源・エネルギー分野の基礎知識を理解し、資源・エネルギー問題を多面的に理解する能力を身につけることを目的としています。資源の探査から開発、そして環境問題までの幅広い内容について、最新の技術や学問に基づいて解説し、地球規模での資源・エネルギー問題を明らかにします。		

プログラム名	地域課題に効く「社会科学」の道具箱 ：政治学・マーケティング・社会学の活用		
教育文化学部		受講対象	高校生以上
内　容	【多面的な視点で地域をリデザインする、社会科学の入門プログラム】 複雑化する地域課題。その解決には、一つの視点にとらわれない多角的なアプローチが必要です。本プログラムでは、政治学・行政学、マーケティング、社会学の４分野から、地域課題に切り込むための基礎知識と方法論を、実例も交えて学びます。 「地域課題の本質を見極め、自ら考え、動き出すための第一歩」を、ここから踏み出してみませんか？		

プログラム名	在宅医療人材育成講座入門		
医学部 保健学科		受講対象	看護職、理学療法士、作業療法士などの医療職
内　容	本講座は、看護職・理学療法士・作業療法士などの医療職を対象とした、在宅医療の未経験者・初心者向けの入門講座です。在宅医療に関する基礎知識や、フィジカルアセスメント、在宅リハビリテーション、在宅ケアなどの実践的な技術を学び実践力を養い、地域で活躍できる人材の育成を目指します。		

プログラム名	環境 GX 講座		
総合環境理工学部		受講対象	大学生以上
内　容	本講座は、GX・脱炭素社会の実現に必要な基礎知識から、水素、再生可能エネルギー、洋上風力、蓄電、省電力電子機器、CO_2 貯留、航空分野の脱炭素化までを体系的に学ぶプログラムです。持続可能社会実現に向けた課題と解決策を学習し、グリーン社会実現に向けて行動できる最先端の知識の習得を目指します。		

プログラム名	DX 入門講座 ～デジタル社会を切り拓く情報学・AI 学・データサイエンス学～		
情報データ科学部		受講対象	学生から社会人、主婦、シニア世代など、これからのデジタル社会で活躍される方
内　容	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に必要なデジタル技術とデータ活用の基礎を学びます。前半では、DX の考え方や社会的意義を理解するとともに、最新の活用事例を学びます。また、AI などのデジタル技術に関する理解を深めます。後半では、データの収集・分析・可視化の手法を習得し、課題解決や意思決定に活用するための基礎能力を身につけます。		

プログラムの詳細は、チラシ裏面及び秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）の HP をご確認ください。
https://one.akita-u.ac.jp

主 催
秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）　秋田大学地域共創機構

共 催
秋田大学国際資源学部　秋田大学教育文化学部　秋田大学医学部保健学科
秋田大学総合環境理工学部　秋田大学情報データ科学部

【お問い合わせ先】
秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）事務局
（秋田大学 地方創生・研究推進課　地域共創推進室）
〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1
【TEL】018-889-2270【Mail】dxdx@jimu.akita-u.ac.jp
【HP】https://one.akita-u.ac.jp/

● プログラム内容

プログラム名	資源・エネルギー講座	国際資源学部
	講義タイトル	講　師
第1回	鉱業とは何か？ ー地下の岩石が金属になるまでー	今井 忠男 教授
第2回	鉱物資源開発における金属鉱床学	高橋 亮平 教授
第3回	秋田の鉱物資源 “地下なる鉱脈 無限の宝庫” ～見直される秋田の地下資源～	越後 拓也 准教授
第4回	秋田県産エネルギー資源とその利用	千代延 俊 教授
第5回	カーボンニュートラルと石油・天然ガス開発	長縄 成実 教授
第6回	資源処理技術と環境問題	芳賀 一寿 准教授
第7回	酸性水とのたたかい	小川 泰正 准教授
第8回	地球温暖化の何が問題か？カーボンニュートラルの読み方	小田 潤一郎 准教授

プログラム名	地域課題に効く「社会科学」の道具箱：政治学・マーケティング・社会学の活用	教育文化学部
	講義タイトル	講　師
第1回	政治学の視点で地域課題を考える	中澤 俊輔 准教授
第2回	民意は地域課題を解決するのか	中澤 俊輔 准教授
第3回	自治体が取り組む地域課題	中澤 俊輔 准教授
第4回	秋田大学生による「横手やきそば」を活用した課題実践型学習	益満 環 教授
第5回	秋田県大仙市における産学官連携醸造酒「宵の星々」を活用したマーケティング戦略	益満 環 教授
第6回	宮城県登米市のシティプロモーション	益満 環 教授
第7回	社会学の考え方と地域課題の考え方・情報の収集の仕方	和泉 浩 教授
第8回	地域課題の調べ方と社会調査	和泉 浩 教授

プログラム名	在宅医療人材育成講座入門	医学部 保健学科
	講義タイトル	講　師
第1回	在宅医療の基礎知識 ①地域包括ケアシステムと今後の展望 ②在宅医療に関する制度Ⅰ ③在宅医療に関する制度Ⅱ ④在宅療養者の生活	長岡 真希子 准教授、佐藤 亜希子 助教
第2回	在宅におけるフィジカルアセスメント ～脳・神経系～	丹治 史也 教授、田中 雄太 助教
第3回	在宅におけるフィジカルアセスメント ～呼吸・循環器系～	佐竹 將宏 教授
第4回	在宅におけるフィジカルアセスメント ～筋骨格系：サルコペニア・フレイル～	若狭 正彦 教授
第5回	在宅リハビリテーション ～理学療法学～	佐竹 將宏 教授
第6回	在宅リハビリテーション ～作業療法学～ ①認知症の作業療法 ②認知症者向けの住環境 ③福祉用具や自助具の適応	久米 裕 教授、浅野 朝秋 准教授、高橋 恵一 講師
第7回	在宅療養者と家族を支える実践1　①安全安楽な動作介助 ②安全安楽な吸引	上村 佐知子 准教授、津軽谷 恵 助教、武藤 諒介 助教、杉山 令子 講師
第8回	在宅療養者と家族を支える実践2 ①スキンケア・ストーマケア ②終末期ケア ③意思決定支援・アドバンス・ケア・プランニング	赤川 祐子 准教授、宗村 暢子 助教
第9回	在宅医療の研究とキャリア開発 ①理学療法学領域 ②作業療法学領域 ③看護学領域	齊藤 明 准教授、小玉 鮎人 講師、利 緑 講師

プログラム名	環境 GX 講座	総合環境理工学部
	講義タイトル	講　師
第1回	GX・脱炭素社会の基礎	寺境 光俊 教授
第2回	水素活用技術	齊藤 寛治 講師、高橋 弘樹 准教授
第3回	火力・原子力発電と再生可能エネルギー	熊谷 誠治 教授
第4回	洋上風力発電	三島 望 教授
第5回	蓄電技術	熊谷 誠治 教授
第6回	省エネルギー電子機器	吉村 哲 教授
第7回	二酸化炭素貯留	大川 浩一 教授、任 傑 助教
第8回	空の脱炭素化	田島 克文 教授、榊 純一 電動化システム共同研究センター センター長

プログラム名	DX 入門講座 ～デジタル社会を切り拓く情報学・AI 学・データサイエンス学～	情報データ科学部
	講義タイトル	講　師
第1回	基礎情報学①「情報技術と社会の変化」	有川 正俊 教授、石沢 千佳子 教授、藤原 克哉 教授、水戸部 一孝 教授、白井 光 講師、南斉 俊佑 講師、LU MIN 講師、内海 富博 助教、雲 河晨 助教、菊地 亮太 助教、佐々木 一織 助教
第2回	基礎情報学②「情報システムと DX」	石沢 千佳子 教授、白井 光 講師、雲 河晨 助教、菊地 亮太 助教
第3回	基礎 AI 学①「AI と機械学習入門」	石沢 千佳子 教授、白井 光 講師、雲 河晨 助教、菊地 亮太 助教
第4回	基礎 AI 学②「生成 AI と社会活用」	石沢 千佳子 教授、白井 光 講師、雲 河晨 助教、菊地 亮太 助教
第5回	データサイエンスの基礎①「総論・社会的背景」	有川 正俊 教授
第6回	データサイエンスの基礎②「共通演習基盤と IoT データ科学基盤」	内海 富博 助教
第7回	データサイエンスの基礎③「行動ログデータ科学基盤」	LU MIN 講師
第8回	データサイエンスの基礎④「地理空間データ科学基盤」	佐々木 一織 助教

※ より詳しい内容は、チラシ表面の QR コードから秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）の HP でご確認ください。

DX入門講座
～デジタル社会を切り拓く情報学・AI学・データサイエンス学～
講師紹介



教授
有川 正俊
空間情報学、
地理情報システム



教授
石沢 千佳子
知覚情報処理、
ログ情報の取得・解析



教授
藤原 克哉
遠隔支援システム、
ソフトウェア設計



教授
水戸部 一孝
サイバースペース、HCI



講師
白井 光
リモートセンシング、
機械学習



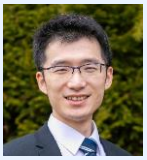
講師
南斉 俊佑
ロボット工学、制御工学



講師
LU MIN
ユビキタス・マッピング、
学習支援システム



助教
内海 富博
組み込みシステム、IoT



助教
雲 河晨
機械学習、パターン認識



助教
菊地 亮太
画像処理、機械学習



助教
佐々木 一織
モバイルビッグデータ、
位置情報サービス

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に必要なデジタル技術とデータ活用の基礎を学びます。
前半では、DXの考え方や社会的意義を理解するとともに、最新の活用事例を学びます。また、AIなどのデジタル技術に関する理解を深めます。
後半では、データの収集・分析・可視化の手法を習得し、課題解決や意思決定に活用するための基礎能力を身につけます。

講義回	講義タイトル	講義概要
第1回	基礎情報学① 「情報技術と社会の変化」	本講義では、DX（デジタルトランスフォーメーション）の基本的な考え方やその必要性について学びます。また、XR・ヘルスケア、知能ロボティクス、空間情報DX、ヒューマンセンシングと画像認識などの研究事例を通して、情報技術が社会や地域の課題解決にどのように活用されているかを理解します。さらに、データ・情報・知識の違いを学び、データ活用の基礎を身に付けます。
第2回	基礎情報学② 「情報システムとDX」	本講義では、コンピュータや情報システムの基礎知識を学び、インターネットやクラウドサービスの仕組みと活用方法について理解を深めます。また、情報セキュリティの脅威と対策、データ分析や可視化の重要性について学習します。さらに、業務プロセスの改善や自動化の考え方を理解し、DXを支える技術や、これからの社会で求められる問題解決力を身に付けます。
第3回	基礎AI学① 「AIと機械学習入門」	本講義では、AIの基本概念や身近な活用事例を学び、AI技術が発展してきた歴史について理解します。その後、機械学習におけるデータ収集から評価までの流れや、教師あり学習・教師なし学習・強化学習などの学習手法を学習します。さらに、ニューラルネットワークや深層学習の基礎を学び、現代のAI技術を支える仕組みについて理解を深めます。
第4回	基礎AI学② 「生成AIと社会活用」	本講義では、画像認識や手書き文字認識などのAI応用技術について学びます。また、ChatGPTやCopilotなどの生成AIを題材として、その仕組みや特徴を理解します。さらに、AIの得意分野と不得意分野を整理するとともに、著作権や個人情報保護、ハルシネーションなど利用時の注意点について学習します。最後に、多様な分野におけるAI活用事例を通して、実践的な活用方法を学びます。
第5回	データサイエンスの基礎① 「総論・社会的背景」	本講義では、データサイエンスの歴史やライフサイクル、ビッグデータ、データガバナンスなどを学びます。データサイエンスが社会や産業、地域経済など幅広い領域に関わる学問・実践分野であることを理解するとともに、個人データ保護や倫理的視点を身につけ、データを適切かつ責任をもって活用する力を養います。
第6回	データサイエンスの基礎② 「共通演習基盤とIoTデータ科学基盤」	本講義は、共通演習とIoTデータ科学の2つの内容で構成されます。Google ColabによるPython操作やpandasを用いたデータ処理の基本を習得してから、IoTシステムの仕組みと、センサデータの表現、品質管理、前処理、集計、探索的分析及び時空間分析までの一連の流れを学びます。未経験者にも配慮し、実践的なデータ処理技術を身につけます。
第7回	データサイエンスの基礎③ 「行動ログデータ科学基盤」	本講義では、WebサービスやECサイトなどにおける操作ログ・イベントデータを対象とします。IDやタイムスタンプなどの基本構造と、欠損や表記ゆれなどの品質課題とデータクリーニングを学習します。さらに、ランキングやファネルなどの行動分析を通じて利用者の行動を定量的に把握し、販売施策やサービス改善、経営判断に活かす手法を学びます。
第8回	データサイエンスの基礎④ 「地理空間データ科学基盤」	本講義では、位置や場所に関係する地理空間データの特徴と社会的活用を学びます。データモデルや座標系、データフォーマットの基礎を理解し、Pythonを用いた読み込みや座標変換、地図可視化を行います。さらに、GPSログの欠損や誤差などの課題を踏まえ、空間分布分析やクラスタリングによる滞在地点や移動パターンなどの把握手法を学びます。